

概要

- ◆ 国立大学等の施設は、全国的に配置された我が国最大かつ最先端の知のインフラであり、地方公共団体や産業界とも連携し、早急に「イノベーション・コモンズ（共創拠点）」を実現するためには、既に保有している施設を最大限活用することが重要である。
- ◆ 大学等の教育研究施設や高専の校舎・学生寮等を戦略的リノベーションによる老朽改善を行い、機能強化とともに長寿命化・脱炭素化を図り、教育研究の高度化・多様化・国際化、地方創生や新産業創出に貢献する場を整備する。

◆安全・安心な教育研究環境の整備（防災・減災、国土強靱化 ※事項要求）

- ▶ 耐震対策及び防災機能強化、老朽改善、ライフラインの計画的な更新



◆機能強化等への対応

- ▶ 最先端研究や人材育成に貢献する施設整備、先端医療・地域医療を支える病院の機能強化

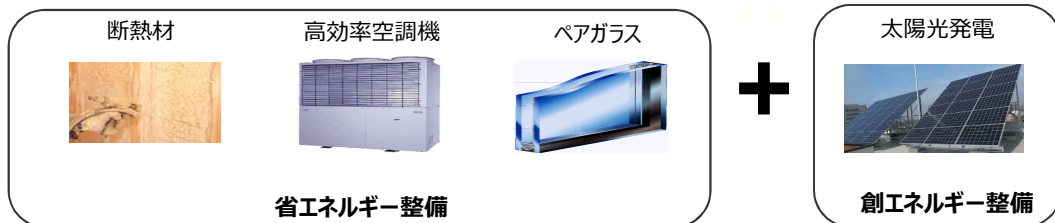


キャンパス全体が有機的に連携し、あらゆる分野・場面・プレイヤーが共創できる拠点となる「イノベーション・コモンズ」の実現を目指す

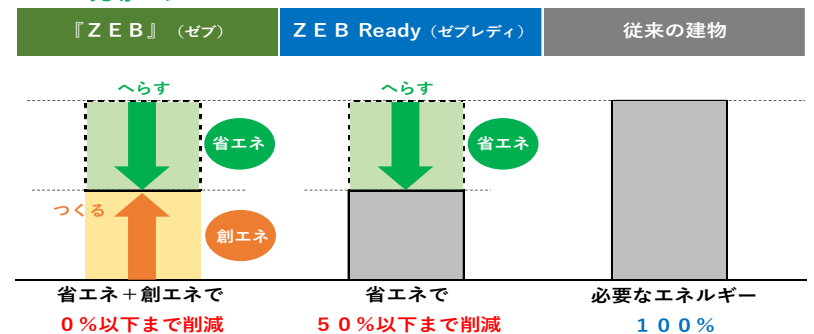


◆カーボンニュートラルに向けた取組

- ▶ ZEBの先導モデルを他大学や地域へ横展開・・・①
- ▶ 国立大学等施設全体の省エネの取組を底上げ・・・②

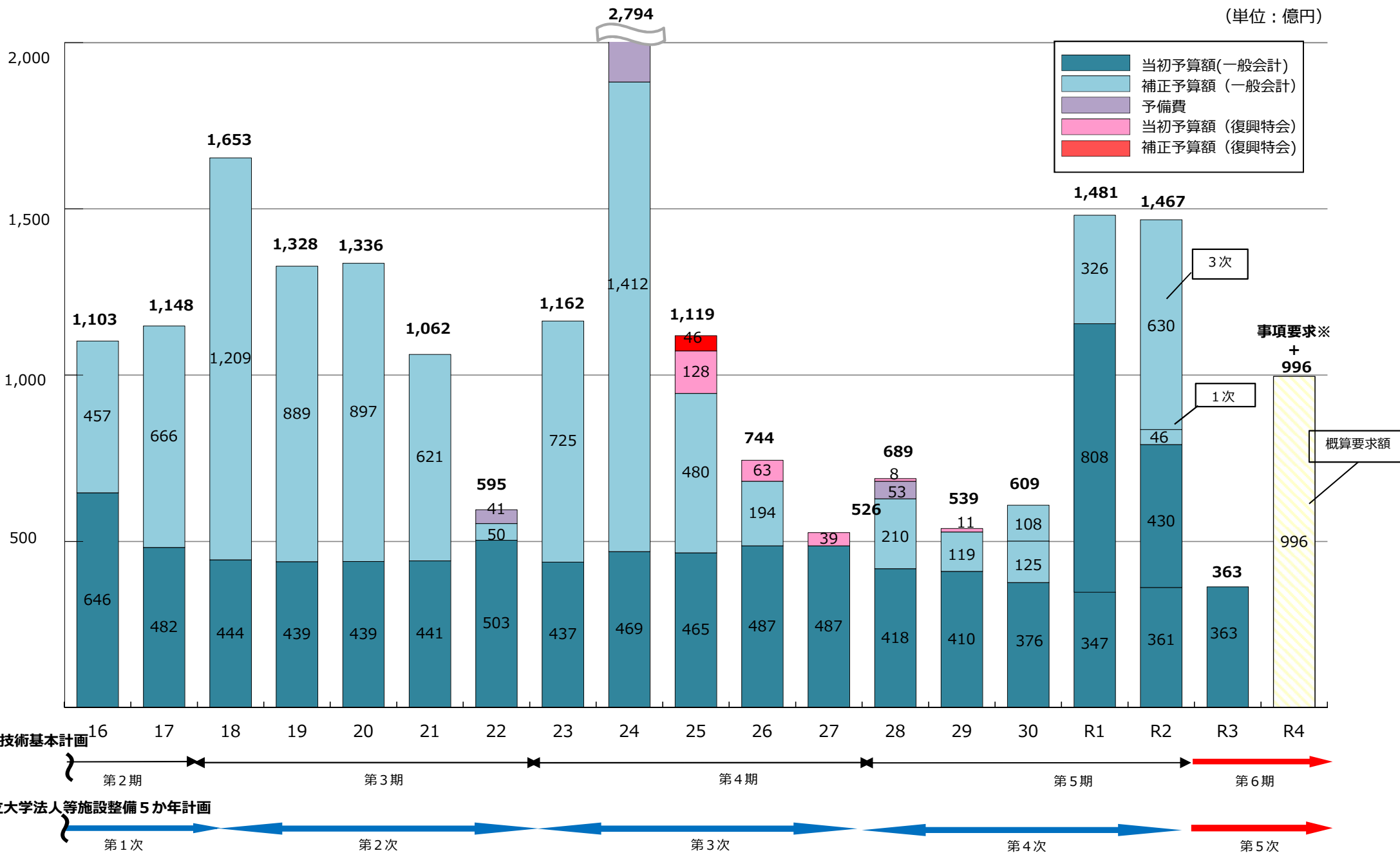


- ①徹底した省エネ対策の先導モデル
- ②省エネ対策の底上げ



国立大学法人等施設整備費予算額の推移（平成16年度～令和4年度概算要求）

（単位：億円）



◇四捨五入により合計は一致しない場合がある。

◇平成30年度補正予算のうち108億円、令和元年度予算のうち808億円、令和2年度予算のうち430億円は防災・減災、国土強靱化関係予算（臨時・特別の措置）

※令和4年度概算要求においては、防災・減災、国土強靱化関係予算等を別途事項要求